

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称	
978	978	教職員研究研修事業	01	01	一般会計	
			10	10	教育費	
基本施策	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	01	01	教育総務費	
			03	03	義務教育振興費	
担当部課名		教育部 学校教育課	103	103	教職員研究研修経費	
作成者氏名	加納 圭子	連絡先	22-9676	細々目	01	教職員研究研修経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	市内小中学校教職員	各学校の教育活動が活性化し、教職員の指導力が向上します。				
本年度事業内容	1. 学校における研修会の充実 助言者の招聘 2. 伊賀市研究指定校の研究発表会開催 3. 児童生徒指導の充実					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	1.76	2.14	2.14
人件費合計(A)	12,672	15,408	15,408
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	51,918	29,988	28,111
委託料	16,334	15,002	14,111
需用費	35,584	14,986	14,000
その他			
合計(A+B)	64,590	45,396	43,519
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	64,590	45,396	43,519
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
研究発表会開催校数	校	8	6	6			
児童生徒指導体制を組織化している学校数	校	38	38	38			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
各学校で実施している研究事業の回数	教職員がお互いに授業交流し、「わかりやすい授業」づくりを進めるということで、研究事業実施回数を指標としました。(38校において各学級1回実施—小学校222学級・中学校92学級)	回	310 目標 (350)	370	370
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

各学校及び教職員の自主的・創造的な研究と実践的な活動を助成することで、その研究の成果を研究発表会において発表し、市内の教育の推進に役立てています。さらに、教職員の指導技術を磨き、子どもたちの学力向上につなげていきたいと考えます。

評価	必要性	4	日常の研修に加えて、設定した教育課題について、多くの専門的な助言を得ることができ、各校の教育活動がさらに特色あるものとして市内に発信することができています。加えて、教職員の資質向上につながっています。市の指定を受けて教育研究に臨むことは、日常の教育活動に加えて、より確かな力量を身に付けたいという教職員の意欲にもつながります。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		
				A